

提案団体名: マイナミ貿易株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等	技術の分野
<p>完全自律型無人機 US Matternet 社 M2ドローン、追加積載荷重2kg・大きさ4リッターで20Kmの飛距離と自動送受信を可能にするステーション。既にUS本国にてFAA認証を受けて、医療サンプルを医療機関から検査施設へのドローン運搬の実績がある。定期便がある場合は、ステーションを両施設に設置することにより、定型のケースを活用して発送にボタン一つ、返送にボタン一つで医療サンプルの配送を可能にする。</p>	<p>下記のうち、該当するものを○で囲んでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通・モビリティ エネルギー <input checked="" type="checkbox"/> 物流 防災 観光 教育 <input checked="" type="checkbox"/> 健康・医療 環境 産業 担い手確保・人材育成 その他
(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ	
<p>本島側の医療検査機関と離島の医療機関に自動ステーションを物理的に設置、M2ドローンを活用して医療サンプルの受発信を無人機を活用して行う。急拡大で世界中での伝染によりパンデミック宣言のあったコロナウイルスのPCR検査システムは大型で高価であり、日本の離島一島一島の医療施設に配備することは困難。離島内でコロナウイルス伝染の疑いのある患者が発生した場合には、PCR検査を行い結果を受けるまでに往復の移動時間が検査時間に加えてかかってしまう。また、検診を受けるために物理的に移動するのは、フェリーや航空機などの密閉空間の移動手段を活用せざるえず、環境として伝染拡大の可能性をひめる。については、Matternet社の完全自動型のM2とステーションを活用したPCR検査キットの配送を行うことにより、移動の時間を極力短縮、毎日24時間体制でPCRキットの配送を受けられる。また、このM2とステーションは離島島民の血液検査、ウイルス検査、緊急薬品(血清、ワクチンなど)の緊急対応を実現することができる。現状緊急対応には、ドクターヘリなどを活用して、運航人員と燃料など高額な費用が発生していた。M2とステーションにより、物理的な患者搬送以外の対応を離島の医療機関で対応することができるようになる。</p>	
3) その他	
<p>マイナミ貿易では、Matternet社M2ドローン以外にも、多様なドローンを揃えている。エアロセンス社日本のドローンは、APS-Cサイズのカメラを標準装備、離島の海岸線、施設、河川の日常監視や、台風などの自然災害後の状況監視、点検をスムーズに行うことを可能にする。Matternet M2ドローンとステーションのコストは現在確認中。エアロセンス社ラジコン型の操作にくわえてGPSを活用しての自律型飛行も可能。</p>	

3

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
マイナミ貿易株式会社 事業開発部	海谷明広	03-3796-6604	kaiya@mainami.co.jp